別記

# 東電争議に関して檄す

新潟支部共闘委員会

(一)

全労働者諸君、全労働者諸君！東電二万二千の全国従業員諸君は今千名ストライキに入らんとしている事の起りはまる男女電と東力会の会員によって生ずる大職場だ。八月中旬に二千名が首にしようとして傍観中の会社は男女共に二三人宛の者切りをやって来たのだ。経営者は大会の決議を無視して解雇者を復職しろ！職場絶対反対！

(二)

痛切な決意が今私につきつけられた。ところが今私は「共産党は出さん」と云う口の下から「共産党」と云う辞令。

(三)

勇敢なる準備会員諸君、我々はどうしたらよいか。「東電の兄弟を決して孤立させるな！」然うだ！どうあっても！東電の兄弟の足元に立って闘う（共産党）労働者こそ、三千名の大量首切に屈せず全地区で、しかも資本家は、旧労農党辞職金等と共に仮よりの（共産党）を恐れて、たからぬ者は、というにかして、とにかく、こうした人々の大職場をねらって猛烈な弾圧をくわえるのだ。こうした為わりでつまるか、偽つか、正しかは、中堅（自身の生活）にかかわる大問題だ。石にかじりついても兄弟を孤立させよ！

ではどうして石原するか。先ず世論に訴えよ。どんな準備会でも第一議基金を集めること。いくらでもよい。亜麻石原はんけいなくなる。すべてを投げうって、ようやく兄弟を救へ！次に今迄の中立は共産党の諸君、大の問題でない、特に文盲、電信の諸君はこう様、今迄言って来局や、オヤヂに目ふる者の家庭をつきつけ、共ふ丈の準備が絶対に必要だ。それはこうこうふわりだ。

電電も第一が協へても知らぬ顔で電電を動かし、モーターが止まっても、工場の仕事